

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	クオリスキッズくがはら第2保育園
施設所在地	区南久が原2丁目9-1 mii 8 久が
法人名	株式会社クオリス

1. 活動のテーマ

<テーマ>

活動のテーマは「絵本」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
保育者が絵本を読んでいるときにしっかりと見つめて話を聞きながら指をさす姿があり、
色や形の違いに気付いた思いを保育者に共有する場面が日々の中で多くあった。
こういった日々の姿からたくさんの絵本を用意することで子どもたちに興味関心を持ってもらいながら楽しく絵本について学んでいくことができるのではないかと考えた。

2. 活動スケジュール

興味関心を持ってもらえるように継続して活動することが大事だと考え月1回以上は活動を行う

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
・机の上に複数の絵本を置く→興味を持った絵本を手にとってみる→自分でページをめくり色や形の違いに気がつく→気がついたことを保育者に伝えようとする→気がついたことを共有する
・子どもたちが主体的に活動できるように見守る

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ひな祭りの絵本を読み聞かせする。ひな飾りの絵を見ながら歌を歌うと歌詞を覚えた子もいて言葉の発達を感じられた。保育者を真似しながら手を動かし表現する楽しさを味わっていた。おだいり様やお雛様等の絵を見ながら着ている色を質問したり同じ色があるか探してみる。周囲をキョロキョロ見渡し発見した事を知らせていた。絵の具を用意しローラーを転がす見本を見せるとローラーに興味を示し手を伸ばす子もいた。自分でローラーに絵の具をつけて画用紙の上でコロコロ転がし初めての感触を楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
適宜活動を撮影。その写真・映像を保育士同士で見ながら、子どもたちがそれぞれに何に関心を持ち、どのようなアイデアを持っていたかを共有し合う。実施した活動は適宜掲示し保護者に共有し、子どもの成長を共に確認し合う。また、活動の見学会も時折実施し、保護者に生の様子を観てもらおうことにしている。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

絵本を読んだことで、子ども達が鬼のイメージを膨らませていった。お面の色や髪の色、角の本数を始め鬼の名前や鬼が出てくる設定を考えて作っている場面もみられ、子ども達の想像力の豊かさにうれしさと共に驚かされた。見せ合いながら自分で作った達成感を得られたようだ。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	クオリスキッズくがはら第2保育園
施設所在地	区南久が原2丁目9-1 mii 8 久が
法人名	株式会社クオリス

1. 活動のテーマ

<テーマ>

活動のテーマは「運動」。これまでの保育では、遊びの中での基礎的な体力を育むことが一般的であり、運動が不足しているという課題があったと考えている。日々の生活以外で基礎となる体力を育む機会を提供することも重要だと考える。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
屋外活動の際に段差に興味を示してジャンプする姿や、子ども同士がハイハイをして追いかけて遊ぶことを楽しんでいる姿が見られたりした。
こういった日々の姿から専門的な道具を使うことで子どもたちに興味関心を持ってもらいながら楽しく運動遊びができるのではないかと考えた。

2. 活動スケジュール

体力をつけるには継続的に取り組むことが重要だと考え、毎月1回以上実施することをスケジュールに組み込んだ。1回の実施時間は約60分無理なく設定をした。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
楽しく活動してもらうために色鮮やかな道具を用意したり、子どもたちが工夫をして遊べるような環境を設定した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

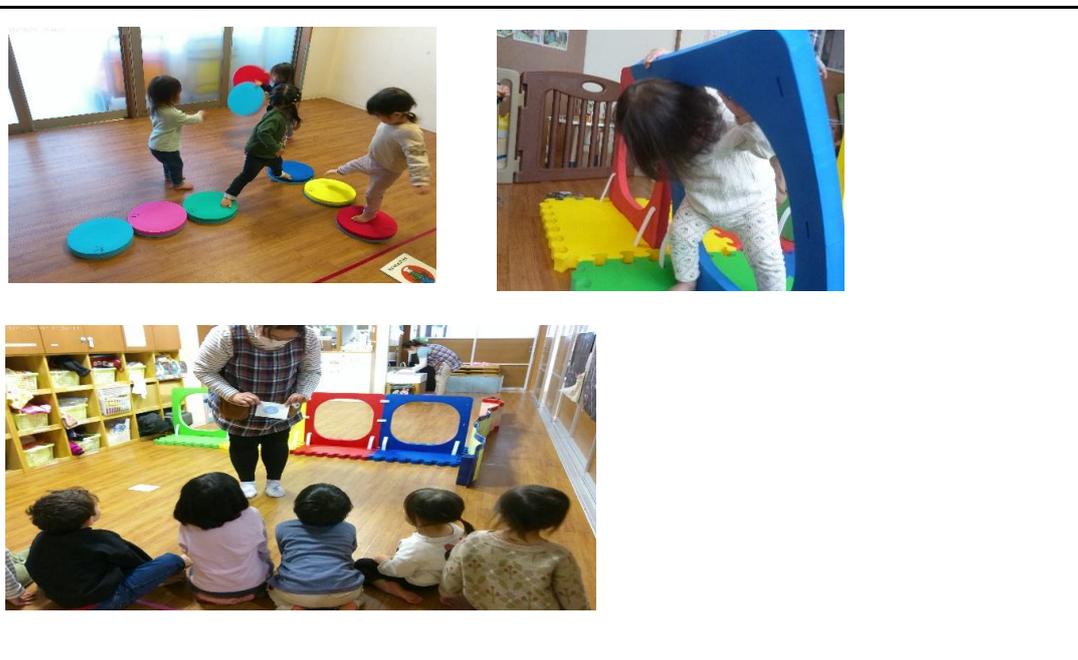
最初は平均台を横に並べ上を歩く、降りる、ジャンプを行いその後はソフト平均台やミュージックパッドを設置し、各々が好きな場所へ自由に行けるようにした。ミュージックパッドを設置する前は「どんなおもちゃだろう？」とワクワクした表情で待ち構えており、パッドを設置するとすぐに持ち上げたり上に乗っていた。ジャンプで音がることに気付くと全員がジャンプを始め更に喜んだ様子でジャンプし続ける。

円状にした平均台の中にパッドを設置し、好きな場所へ自由に行き来できるように足腰を使って移動を楽しんでいた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

適宜活動を撮影。その写真・映像を保育士同士で見ながら、子どもたちがそれぞれに何に関心を持ち、どのようなアイデアを持っていたかを共有し合う。実施した活動は適宜掲示し保護者に共有し、子どもの成長を共に確認し合う。また、活動の見学会も時折実施し、保護者に生の様子を観てもらおうことにしている。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

移動やジャンプをすることで全身を使い室内でも十分に身体を動かす遊びができた。またジャンプで音が鳴ることで自分自身で音を鳴らしているという喜びにも繋がっており、より子ども達の満足感が増していた。パッドを一人で飛ぶだけでなく友達と共に飛ぶことで楽しさをわかちあえていたのも良かった。